

□■ 独立行政法人統計センター 情報セキュリティ基本方針 ■□

統計センターでは、国民生活の向上と社会経済の発展に貢献するために、正確で信頼できる統計データを作成し、適時、的確に提供することを使命としています。調査票に記載されている個人情報を始めとする各種情報とハードウェア、ソフトウェアなどの情報システムから成る情報資産が統計センターの事業活動を展開する上で不可欠な資産であることを認識するとともに、これら情報資産の適切な保護・管理を通じた情報セキュリティの確保を経営上の最重要課題の一つに位置付け、情報セキュリティ対策をより一層強化して参ります。

そこで、統計センターは、統計センターに従事する職員全員が参画する情報セキュリティマネジメントシステムを以下の項目を通じて確立し、情報セキュリティの確保に向けて弛まぬ努力を続けていくことをここに宣言致します。

(1) 情報セキュリティ体制の構築

統計センターは、情報セキュリティマネジメントシステムを構築し、経営陣を中心とした管理体制のもと情報セキュリティの維持、向上に取り組みます。

(2) 情報資産の適切な管理

統計センターは、保有する情報資産について重要性を認識するとともにリスク評価を行い、適切に管理します。

(3) 情報セキュリティポリシーの策定

統計センターは、保有する情報資産を厳正に管理するため、情報セキュリティポリシーを定め、統計センターに従事する関係者全員にこれを徹底します。

(4) 法令・規範の遵守

統計センターは、情報セキュリティに関する法令その他の規範を遵守します。

(5) 継続的な改善

統計センターは、定期的に監査を実施し、継続的に情報セキュリティマネジメントシステムの改善を行います。

平成 31 年 4 月 1 日

独立行政法人統計センター
理 事 長 笹島 誉行
統計情報技術担当理事 木村 敦